

ベルとテトの おたんじょうびパーティー



★はぎのおたから★
はぎの よいところ
すてきな ばしょ
おいしそうなものを
さがして みよう!

ベルとテトの おたんじょうびパーティー



なかよし きょうだいの ベルとテト。

くろいぬの ベルは おねえちゃん しろいぬの テトは おとうとです。

ふたりは はぎというまちに すんでいます。

にちようび ともだちと おやつを たべているときに
おかあさんが いいました。

「いつも おもちやを つくってくれる いのししはかせ
きょうが 100さいの おたんじょうび じゃなかったかしら」

「じゃあ わたしたちで
はかせの おたんじょうび パーティーを しようよ
みんなで おいしいもの たくさん つくろう」とベル。
「やったあー パーティーだ」
テトと みんなは おおよろこびです。



ベルが はかせへの しょうたいじょうを かきます。
「きょう ひが くれるころ いのししはかせ 100さいの
おたんじょうびパーティーを します
ごちそうを たくさん じゅんびして まっています」
ていねいに かいて かわいい ふうとうに いました。

ごちそうの ざいりょうは みんなで きょうりよくして あつめます。
「さあ みんな ざいりょうあつめに しゅっぱつだ」



そのころ はかせは こどもたちに おもちゃを とどけようと
おでかけの じゅんびを していました。

カワウソくんは かわかみ 川上で あゆの つかみどり。
「わあ すばしっこい!」「そっち そっちに いったよ」
「うなぎだ! すべる すべる」 つるつる つるるん
そばでは タヌキの ほっかいさんが えを かいて います。



こぐまくんは ^{こま}木間で とうふを もらいました。
しかし それにきづいた うしさんが もうとっしん！
「きゃー たすけて～！！」

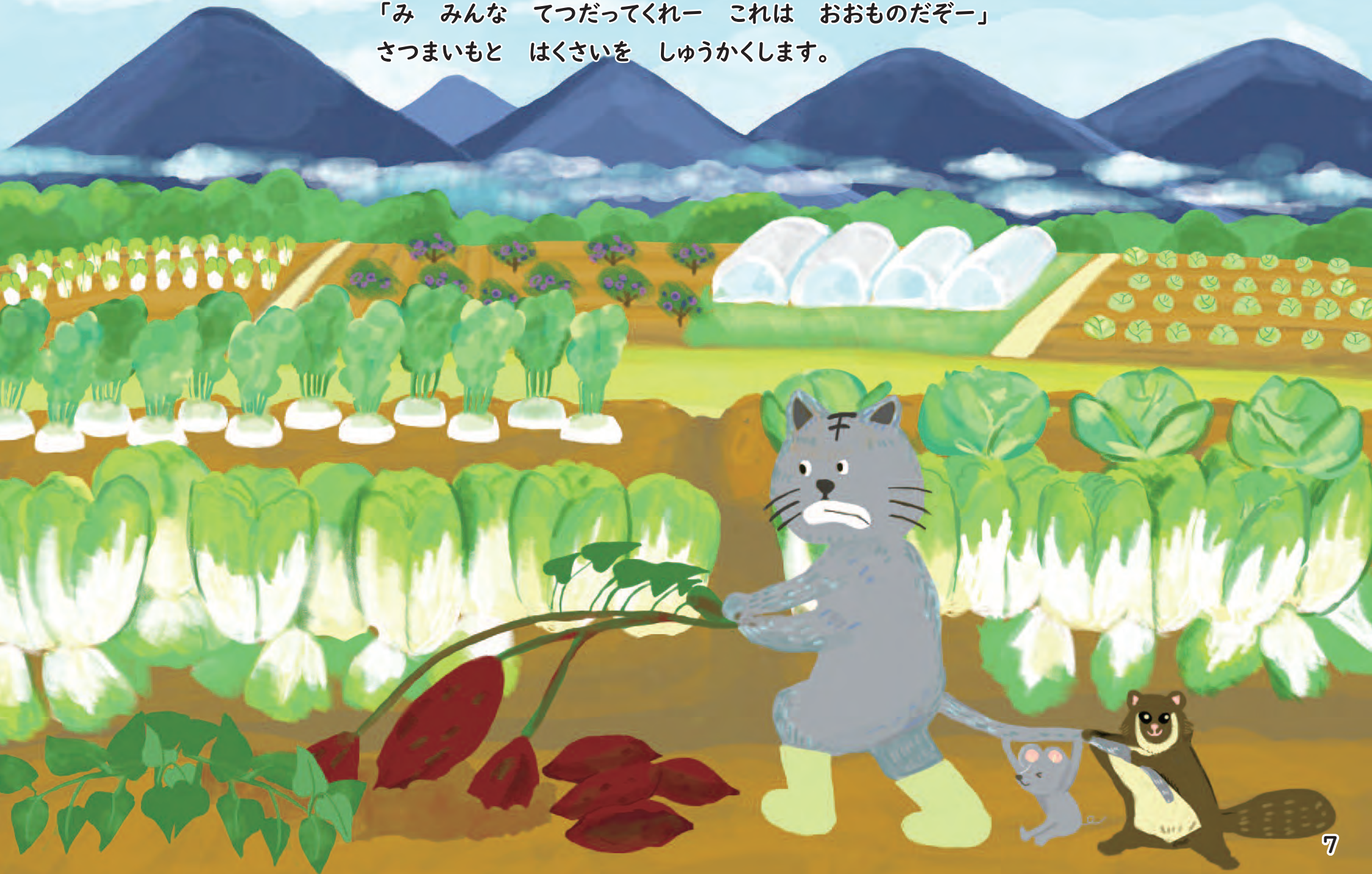


タヌキくんは 須佐で
「おお~きな からつやきを つくるぞー」
と はりきって います。

ちいさな なかまたちも よいしょ よいしょ。
おさらと コップを つくります。

「きれいな いろだねえ 須佐の うみみたいな いろだねえ」

ネコくんは ^{ふくえ}福栄の はたけで おいもほり。
「み みんな てつだってくれー これは おおものだぞー」
さつまいもと はくさいを しゅうかくします。





ブタさんは おつみの ダイコンばたけに やってきました。
「ダイコンで いっぱいだ ニンジンもあったぞ
ちょうど よかった おいしい ダイコンと ニンジンで
スープをつくらう」



あきら ぎ

明木に きた ねずみくんたち。

「いちばん りっぱな じねんじょを ほるぞ!」



「わあ きいろい ハートの はっぱで いっぱいだねえ」

「むかごも ついてるよ」



「おもすぎるよー おいしい ごちそうのため がんばるぞ!」

うさぎさんは 佐々並で おもちつき。
ペッタン ペッタン おいしくなーれ ペッタン ペッタン
ほっぺた みたいな ふわふわ おもち
くるくる まるめて ならべます。
「あんこがいいな きなこもおいしいね」



サルくんは ^{た ま がわ} 田万川の くだものえんで しゅうかくです。
モモ クリ リンゴ ナシ ブドウ。
くだものえんの なかは あまーい かおりでいっぱい。
「くだものいっぱいの ケーキを つくろう」
と サルくんは つまみぐい。





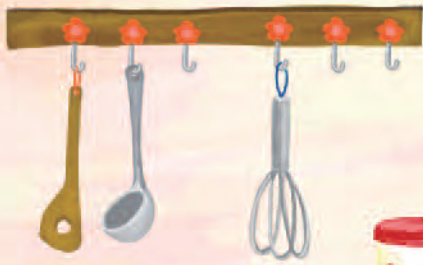
ベルとテトは マルシェで たりない ざいりょうの おかいもの。
「ねえ ベル なにを かうん だっけ？」
「えっと たくさんあるよ
タマゴにチーズ きのこにトマト それから…それから…」



「アイスクリームやさんが いるよ
ちょっとだけ きゅうけいしようよ？」とベル。
「だめだよ。いそがなきゃ じかんがないよ」とテト。



ベルとテトは いそいで おうちに かえります。
「ただいまー さあ じゅんびしなきや」
みんなも りょうてに いっぱい ざいりょうを もって
かえって きました。



「ぼくは しょうたいじょうを はいたつ してくるねー
いってきまーす」





まつたけの森

トマトのハウス

ベルとテトの家

ネコのパン屋

ムササビの本屋

しょうぶえん

くまの花屋

ひまわり畑

ゆずの木

ゆうびんきょく

赤い屋根の通り

いのししはかせは はぎのまちを
おさんぽしながら ベルとテトの
いえに おかいます。



柱状せつり

マルシェのひろば

学校のそば屋

田んぼ

カヌー教室

せいまいじょ

おき水

おじぞうさま

アユ

くだもの園

シカクの家

モズクガニ

とうふ屋

カエルの
フラダンス教室

サルの
フルーツパティ

いのしし
はかせの家

火田

みちの馬

テトが はかせの いえに つくと
 ドアには はりがみが。
 「ベルとテトの いえに いきます」
 テトは いそいで はかせを おいかけます。



ケーキを つくろう♪ ケーキを つくろう♪



100さい 100さい ロウソクが100ぽん♪



まぜまぜ あわあわ こねこね チン♪



20 ケーキは ふわふわ くだもの シャキシヤキ



いっしょに たべたら サイコーだ♪





テトが はかせに おいついたのは いえの まえでした。
「テト どうしたんだい？ そんなに いきを きらせて
おや なんだろう この かんばんは？」
「やっと おいついた
はかせ しょうたいじょうだよ」

いのししはかせ
の
おたんじょうび
パーティー

100さい
HAPPY BIRTHDAY





「いらっしゃい いのししはかせ！」

「100さいの おたんじょうび おめでとう〜」

「みんな すてきな パーティーを ありがとう」

みんなで たのしく ごちそうを たべます。

ベルは さっそく

「おかわり！！」

みんなで つくった りょうりは どれも おいしいね」

「いのししはかせ よろこんで くれてよかったね
スープも ケーキも おいしかったね」
ふたりは うれしい きもちで きょう あったことを
おもいだしながら おふろに はいりました。



かわかみ



山口県で 2 番目に長い 阿武川がながれる川上地域は 山にかこま
れ 秋にはみごとな紅葉を みる事ができる 自然豊かな場所です。

川には 鮎やモズガニなどがすんでいます。山ではササユリ、ホン
シャクナゲや 自生のユズがみられます。またオシドリなど いろい
ろな野鳥も みる事ができます。

江戸時代 川上のひとびとは 薪や炭をのせた船で 阿武川をくだり
萩の城下町に うりにいっていましたが あるとき 下流に水車ができ
て 船がとおれなくなり こまりました。

やりとりのすえ 水車はなくなりましたが 最後までねばった 平助
と権太は 処刑されました。

ふたりのお地蔵様は いまでも背むけ地蔵として 阿武川を しずか
に みまもっています。

萩出身の画家 高島北海は 上流にある 長門峡の景色のすばらし
さを 全国にひろめ 絵を売ったお金で 約 10kmの遊歩道をつくりま
した。

昔の人たちの たゆまぬ努力と 土地を愛する気持ち、そしてこれか
らも 住民達の手によって 川上の自然や文化は守られています。



こま



山にかこまれた 木間地区は 夏のはじめには ホタルが飛びかう
夜空の きれいなところです。

鯨ヶ岳 (616 m) という 高い山から流れる水が 木間全体をうる
おし 昼と夜の気温の差がはげしいため 美味しいお米や野菜がそだ
ちます。

毎年お盆には 大切にまもられてきた神社で 小さなお祭り 風よ
けまつり (風鎮祭) があり 「神代の舞」が舞われます。

また おかしから 土地の神様や 仏様を大切にしてきた この地域
には おじぞうさまが沢山あり 木間の人たちを 見守っています。

地域の人達によって たくさんの菖蒲がうえられ 毎年 花が咲くこ
ろ (6月) にあわせて お祭りもおこなわれます。

お祭りのときには 木間でつくった おいしいとうふ・みそ・うめぼ
し・つけものなどを 販売しながら お客さんとの ふれあいを楽しん
でいます。

緑におおわれた山や きれいに耕された田畠 牛の放牧 日本の昔な
がらの風景をおもわせる どこかなつかしい小さな村です。

すさ



須佐という地名は 日本神話に登場する神様 スサノオノミコト (須佐之男命) の 伝説にちなんでいます。水あげされるイカは「須佐男命いか」と名づけられており 周辺では古代のお米「赤米」も作っています。

江戸時代この地には 益田のお殿様が住んでおり 益田家ゆかりの寺や 歴史が学べる資料館があります。

唐津という地域には 御用窯があり 益田家で使ったり 贈り物にする 焼物をつくっていました。また須佐唐津焼は 船で運ばれて 北陸・東北・北海道などにも はんばいされていました。

弥富という地域には 溶岩がゆっくり 冷えてかたまつた 六角形の柱(柱状節理)がみごとな 壺ヶ淵や そばの花畑の 美しい景色がひろがり 秋の祭りでは 手打ちそばも ふるまわれます。

さわやかな海風がふきぬけ 神様の伝説がいきづく須佐は どんな 困難にもまけない 心のつよい人々の すむ町です。

ふくえ



福栄地域は 山にかこまれた のどかな場所です。約 200 万年前から 約 10 万年前に 火山の噴火によってできた 長沢台 羽賀台 平原台 平蔵台などの 平らな台地があります。

そこでは お米や野菜 ブドウなどが 作られたり 牛の飼育などが 行われたりしています。溶岩が流れてできた 台地は お米や野菜にとって 栄養のほうふな土地です。とくに 福栄のハクサイは 山口県の 指定産地として 登録されています。

平蔵台では 秋冬の 朝はやい時間に 雲海という 雲の海をみる ことができます。鍋山という まるいドームのような形の 火山もあり 西見山八幡宮には 鍋山の石でつくられた いまにも動き出しそうな 大きな牛が まつられています。

江戸時代 禁止されていた キリスト教の人々が かくれ住んでいた 伝説や 88か所の仏様があり それらをめぐる人もいます。

きんねんでは 砂鉄を鉄にするための場所 大板山たたら製鉄遺跡が 世界遺産になりました。

大地のパワーを感じることでできる 広大な自然と その恵みをうけた お米や野菜 果物がほうふな地域です。

むつみ



むつみ地域は山に囲まれ農業や林業が盛んなところで、火山が噴火してできた伏馬山をシンボルに広がる大地には田んぼや畑がたくさんあります。

いまでは伏馬山の麓に、およそ22万本のヒマワリが植えられ毎年たくさんの方がおとずれています。

水はけのよい大地なので夏でも冷たいきれいな湧き水がこちらにあります。

田んぼはおもに火山の噴火で流れた溶岩の台地の上にあるので中央を流れる蔵目喜川からポンプで水をくみあげておいしいお米をつくっています。

千石台では火山の噴火によって降り積もった火山灰でできたフカフカの黒ぼく土のなかで栽培されたとてもおいしいダイコンが毎年たくさん出荷されています。

石見国（今の島根県）の津和野へ行く街道が通っていたため交通の中心の場所としてさかえました。勤場という役所があり街道を利用してたくさんの人や物があつまっていました。

ふるいお墓や遺跡もあり歴史を感じることで自然豊かなところですよ。

あきらぎ

じねんじよ



江戸時代には萩の城下町から山口や下関へいく交通の重要な場所として、たくさんの方が行きかいました。毛利のお殿様も参勤交代（萩と江戸を1年おきに行き来する）でかよっていました。宿場としてさかえた明木地域は赤い屋根の家が立ち並ぶおだやかでうつくしいまちです。

明木には彦六・又十郎伝があります。

そのころ明木は萩の町から近かったこともあり炭や野菜や米などをたくさん作っていました。

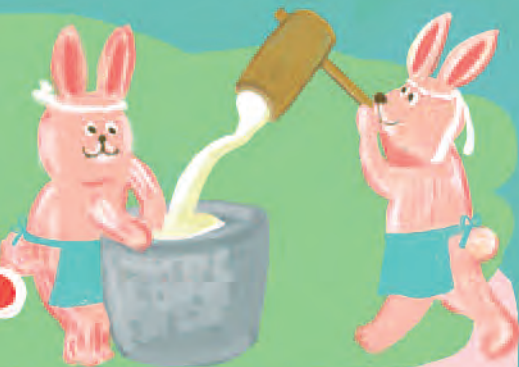
萩にお城をつくる時、2人はたいへんよい働きをしたのでお殿様からごほうびがもらえることになりました。

ふたりは明木の人々が萩の町に商品を売りにいくとき税金を払わずに萩に入れるようにお願いしたところおゆるしがでてとても感謝されました。

今では栄養の豊富な自然薯（やまいも）を地元の小学生と一緒に植えつけや収穫をして特産として販売しています。

明木を流れる川には夏はホタルがとびかいます。またカジカガエルの美しい鳴き声が聞こえオヤニラミなどきれいな川にしかすまない魚もいます。

ささなみ



ささなみちいき えどじだい はぎじょうかまち みたしり ほうふし
佐々並地域は 江戸時代に 萩の城下町と 三田尻（防府市）をおす
ぶ 萩往還の 宿場町として さかえた山里です。

もうり とのさま さんきんこうたい はぎ えど ねん ゆき き
毛利のお殿様が 参勤交代（萩と江戸を1年おきに行き来する）のと
ちゆう きゆうけいをし 幕末には 吉田松陰や 高杉晋作など 維新
の志士が かけぬけました。 吉田松陰は 餅好きとの記録が のこっ
ており 佐々並でも 餅をいただいたのかも しれません。 そのころ
の建物や まわりの景色が いまでもよく残っており 国の保存地区に
なっています。

きよだい かざん ふんか とち
巨大な火山の噴火により 土地のかたちが すりばちのようになっ
ているので きれいな 湧き水が ほうぼうから 流れこんでいます。
その水を利用して かつては 豆腐づくりも さかんにおこなわれ
「佐々並とうふ」として 名物になっていました。

ささなみ ふうしゅう けっこんしき じぞうさま はこ こ がつ
佐々並の風習として 結婚式にお地蔵様を 運び込んだり 8月の
地蔵盆では お地蔵様にお化粧をし お参りの方に 小豆ご飯のおもて
なしを しています。

しき 四季のうつりかわりが 楽しめる 自然豊かな地域で 穏やかで と
ても あたたかい人々の すむ歴史ある場所です。

たまがわ



たまがわちいき しまねけん ばしよ うみ やま
田万川地域は 島根県と となりあった場所にあり 海と山にかこま
れた 心地よい風の吹き抜ける 町です。
にほんかい えさきわん ていちあみ さかな にんき ぎよこう
日本海にめんした 江崎湾は 定置網でとれる 魚が人気の 漁港と
して さかえてきました。

やま 山にかこまれた おがわちく かざん ふんか たい
小川地区は 火山の噴火でできた 3つの平らな
台地があり 果樹園（くだもの畑）や 田んぼ・畑が 広がっています。
そこでは モモ・クリ・リンゴ・ナシ・ブドウなどが 作られていま
す。 水はけと水持ち そして ひあたりのよい 台地でとれる 果物
は とてもあまく みずみずしいので 山口県の中からも外からも と
ても 人気があります。

どうろこうじ ほうけん ばしよ
道路工事のときに ぐうぜん 発見された めずらしい場所も あり
ます。 伊良尾山の噴火で 川の中にながれた 溶岩が ゆっくり冷
えて かたまり たくさんの 6角形の柱（柱状節理）ができました。
りゅう うろこ りゅうりんきょう な
龍の鱗のようにみえるので 龍鱗郷と 名づけられました。

うみ やま れきし くだもの まち
海・山・歴史・おいしい果物 ひとつの町に さまざまな エッセン
スがつまった おくぶかい場所です。

ベルとテトのおたんじょうびパーティー

2021年3月 刷

編集・発行 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

〒758-0057 山口県萩市堀内355 萩博物館内

TEL0838-25-3177 FAX 0838-24-0505

URL <https://city.hagi.lg.jp/site/machihaku>

作 吉本 妃 絵 Atelir kalton

絵本素材製作 波多野心虹 手嶋楓 手嶋海貴

むつみ地域有志のみなさま

Special Thanks 各地域でお話を聞かせてくださった皆さま



令和2年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)によって作成しています。
本書の内容を無断で複製・複写・放送・データ配信などすることはかたくお断りいたします。

